

防災行政無線について

Q 防災行政無線のアナウンスは誰が行っているのか。

A 政策推進課と税務課の職員2名である。

Q 自動音声合成ソフトの導入を検討してはどうか。

A 導入に当たっては、災害時に臨機応変な放送に堪え得るかどうかを踏まえ検討していく。



防災行政無線

死亡時の手続き支援について

Q 超高齢化社会に対応した窓口サービスの向上が求められる。死亡時の窓口手続きはどのような流れで行われているのか。

A まず、市民窓口課、サービスセンターに死亡届を提出するが、多くの場

合、葬儀業者が行っている。その際、パンフレットを葬儀業者を通して遺族へ配布し、それに沿って遺族は手続きを行なっている。

Q 手続きを支援するために専門に対応するお悔みコーナーを開設してはどうか。

A 市民窓口課を総合窓口にし、一か所で手続きができるような体制を取っている。他の自治体のお悔みコーナーは承知をしている。機能は集約されており、今後も親切、丁寧な対応に努めていきたいと考える。



市民総合窓口

中高年のひきこもり支援について

Q 就職氷河期世代を含め、中高年層のひきこもりが大きくクローズアップされている。支援センター的な機能を持った支援窓口を開設してはどうか。

A 生活困窮者自立支援事業の一環として、福祉課において相談に応じているほか、健康相談として健康づくり課が関わっている。相談支援に特化した支援窓口を開設する。

嵐南小中一体校の小中一貫教育に対する評価について

Q 不登校を減らすという名目で1500人のマンモス校をつくったが、うたい文句通りに不登校は減ったのか。

A 市全体の不登校数は過去10年の中で最も多かった。ただ、ここ数年全国的には不登校数が非常に悪化している状況の中、三条市は、全国の発生数と比較しても良好な推移を示している。

Q 運動会や絵画展を見ると子供達個性豊かに伸び伸びと育てられているように見えない。全国に先駆けて実施した三条市の小中一貫教育は最初

東三条駅前駐車場は終日の使用が可能に

市民福祉常任委員会 小林 誠委員長

令和2年度三条市一般会計予算

Q 三条市社会福祉協議会補助金を令和元年度の約3800万円から約1500万円へ大幅に減額するのはなぜか。生活困窮者への貸し付け、屋根の雪下ろし費用助成等の市民生活に関する支援に減額の影響はないか。

A 補助金の算出根拠を明確にすべきと考え、補助金交付要綱に定める対象経費に係る人件費を精査した結果、算出された額である。なお、減額は人件費相当分のため、支援への影響はない。

三条市東三条駅前駐車場条例の一部改正について

Q 1泊の使用料を新設し、終日の使用を可能としても、午後9時から午前9時まで入退場できないのでは不便。いつでも入退場できるよう、管理人ではなくゲート式などの機械で管理した方が良いのではないか。



付託された議案のうち、議第1号及び議第3号は賛成多数で、その他は全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。

CHECK! 常任委員会 審査レポート

詳しく議案を審査します!

情報漏えいがないよう庁舎の管理を徹底

総務文教常任委員会 野寺久雄委員長

議第1号 令和2年度三条市一般会計予算

Q 庁舎内の事務室は行政文書や個人情報であふれている。三条庁舎における休日夜間の警備体制はどうなっているのか。

A 嘱託員1人、警備員1人の2人体制で警備を行っており、誰が何時に入り、何時に退庁したか管理している。外部から不審者を入れない、情報漏えいがないよう徹底したい。

Q 施設の長寿命化という位置づけの中で今回耐震化工事が予算計上されているが、老朽化に伴う今後の新庁舎建設など新たな対策は考えているか。

A 今回の耐震化工事に伴い、老朽化の部分も洗い出し、併せて工事できるところは一定程度計上した。現時点での計画はないが、今後いずれかの段階で新たな庁舎の話も出てくると思う。

Q 慢性的な消防団員の欠員状況を改善するために、今回消防団の再編が行われるが、今後3年間で何人になるのか。

A 今現在、定員については1346人、3方面隊22分団98部、車両100台を有しているが、今後3年間、令和5年度までをめぐると、定員は約1000人、編成は6方面隊13分団63部、車両約71台を見込んでいる。



付託された議案のうち、議第1号は賛成多数で、その他は全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。

からつまづきがあった。不登校は減らず、プールは元通りに使えない。このままではいいのか検証する必要があるのではないか。

市長を辞めるにあたり

Q 負の遺産、不良資産になるおそれはないのか。

A (1)売れない「帯織街苑」(2)元通りに使えない嵐南小中一体校プール(3)うまくいく期待が持てない三条市立大学。

A 評価すべきタイミングでも状況でもない。



A 機械が非常に高額なこと、土地所有者から「恒久的な工作物は設置しないでほしい」との要望があること、管理人への従事を高齢者が活躍する場の一つと考えていることから、現行の方法で管理している。設置目的や使用状況、費用対効果などを総合的に勘案の上、対応可能なものは改善していく。